

さぬき

第 16 号

発行者

社会福祉法人

児童養護施設

讃岐学園



児童養護施設「讃岐学園」とともに歩んでこられた阿部前園長が三月末で勇退されました。先生の後任として、満開の桜の花に迎えられて、はや、三ヶ月が経ちました。

子どもたちは、「園長先生、園長先生」と物珍しさもあってか、ニコニコとまとわりついてくれます。少子化対策が叫ばれて久しくなりますが、出生率は最低を記録しました。

こどもの数は確実に減っているのに、讃岐学園で暮らすこどもは減りません。

世の中は目まぐるしく変わっています。大人たちは変化についていくのがやっとの状況が続いていますが、私たち、大人が毎日、毎日を精一杯頑張っている様子が子どもたちに伝われば、子どもたちの顔は明るく輝いてくるはずです。

とまどいと、驚きの毎日ですが、子どもたちの明るい笑顔に囲まれて毎日を過ごしたいと思っています。

園長 土釜 一

『食育について』

前園長 阿部龍江

食育とはなんだろう？ 私たちが生きていくために必要な食へのものと云うことであるが、その食へのものを育てていくと云うことで、「いただきます」と云うことばが生まれてくるのです。

我が国では、一日に全国で食物を棄てる量は二百万食を云われています。食へのもの六十パーセントは外国から輸入されています。大変もったいない話です。米、野菜、肉類を生産するのは大変な努力と費用がかかります。食へ過ぎて病気になる人々が多くなっています。

今更の様に、食育の大切さが考えられます。大事な事として、再考してみなければならぬことだと思います。



『食育』

栄養士 大野純子

讃岐学園の食事運営に関わる事になって思い描いていた夢は「子どもに喜ばれ、健康でたくましく、心の豊かな子どもたちに成長するための食事」を提供できるような仕事をしたということでした。しかし、実際には幼児と学校の児童生徒とは年齢差だけではなく、喫食状況にも違いがあると気付かされました。

子どもは、初めて出会うものをまず口に入れて試し、「生きるためには食へること」という本能の行為から「食へる」を学習として学んでいきます。学園における食育が目指すものは、まず「食へる事が好きになること」だと思

ます。

食生活の基盤となる子どもたちの食事について、食に興味を持たせながら、楽しく食へられる子どもたちの育成に努めていくことは、非常に責任ある仕事であると同時にやりがいのあるものと痛感しています。



『幼児寮と食育』

保育士 小屋敷由花

幼児寮に入所してすぐの子どもの食事の様子は、大きく二つに分かれます。何でも好き嫌いなく大人並みに食へていたのに、一ヶ月程すると量が減り、普通（といっても一般よりは多い）になる子。野菜を食へる習慣がなかったのか、口に入れると舌で押し出したり、こっそり床に落としたりする子です。（前者は育児放棄されていた子によく見られます）

そして、長く幼児寮という大きな集団にいと、子どもたちは常に競い合う人間関係にあるので、一般家庭の子と比べものにならない程の食欲を見せます。ひとりっ子が食へる物に執着しない様子とは対極にあります。これは、子どもの中の満たされない気持ちや、食欲という欲求になって表れるものであって、偏食が全くないわけではありません。ですから、年齢が高くなり、自分で配膳できるようになると、嫌いな物だけ除いて入れたり、こっそり残したりと悪知恵を働かせるようになります。

それから、集団生活の中で子どもに欠けているものは、実際に食材を目にした時、調理の過程を見たり手伝ったりする経験です。偏食をなくすためにも、物のありがたみがわ

かるためにも、この経験は不可欠なので、一、二ヶ月に一回

程度、二、三人の少ない人数でグリーンホームを利用して、買物、食事作りを行っています。環境が変わること、調理を工夫することで、苦手な物も徐々に克服しています。

次の課題は、自分で育てた物を食へることです。現在枝豆を育てていますが、食へ物が口に入るまでの時間や労力を感じとってもらえればと思っています。



『子どもの心と体を育む食育』


調理員 十河君子

子どもの健やかな心と体の成長のためには、毎日の食事は大変重要です。栄養バランスを考えてどのように食材を選び、おいしく食へるかを子どもに伝えることは、子どもの将来にとって大きな財産になります。例えば、台所仕事を簡単なものから手伝ってもらいましょう。買物をしたり一緒に料理をつくったり、積極的に食事をともにする時間を持ちましょう。幼い頃から皆で食へる楽しさ、作る楽しさを体験していると人の気持ちがよくわかるようになります。食育とは、子どもの頃から体にはいい食へ物を選ぶ目を育て、「食」の大切さを学び、好ましい食習慣と豊かな心身を身につける教育だと言われています。




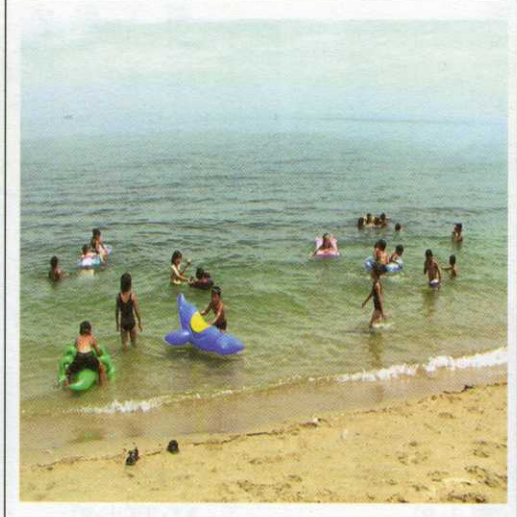
※この頁の写真は学園で栽培している野菜です

がありました！

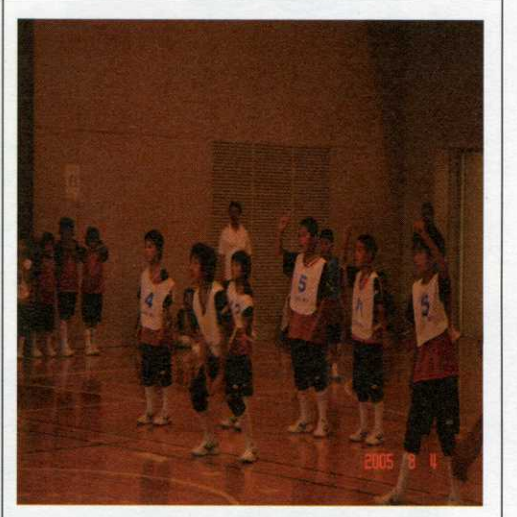
 幼児キャンプ



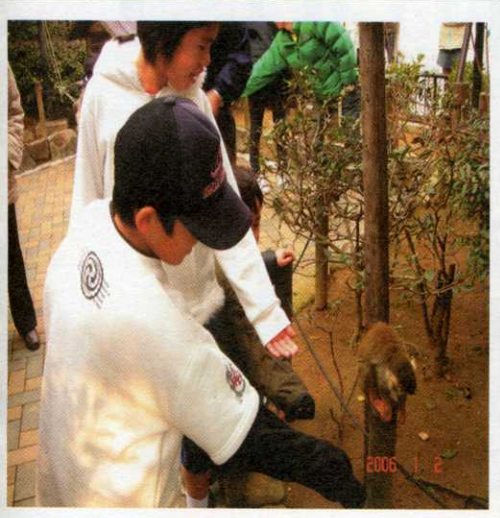
 学童キャンプ



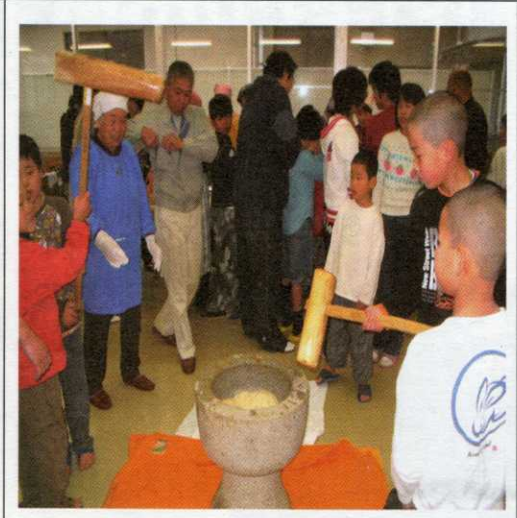
 四養スポーツ
交流大会 (優勝)



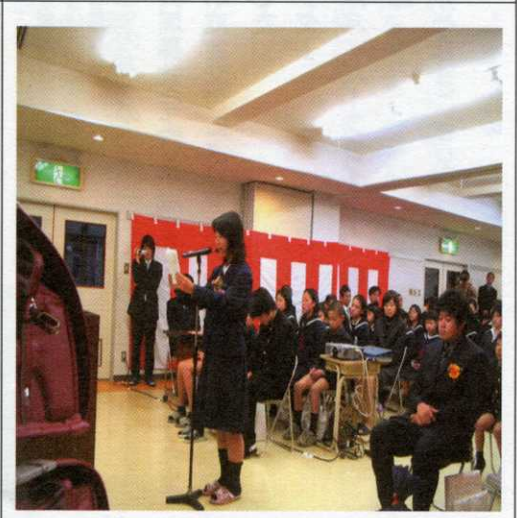
 お正月外出
(徳島動物園)



 餅つき



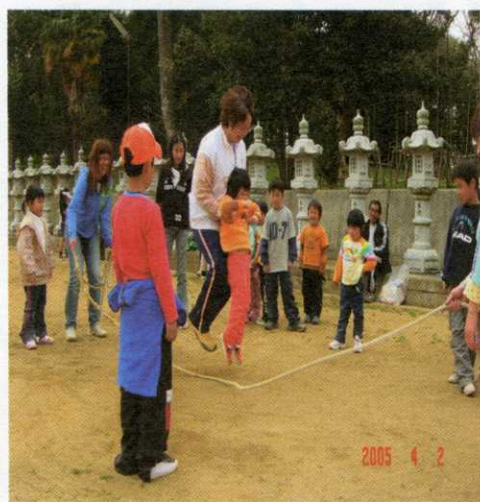
 卒園式



1年こんなこと



お花見遠足



一日園長先生



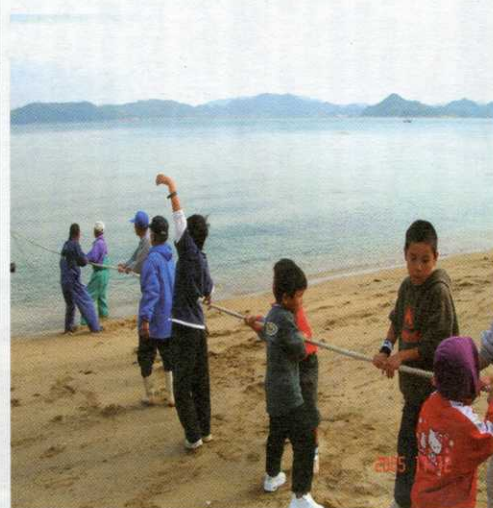
地域交流会



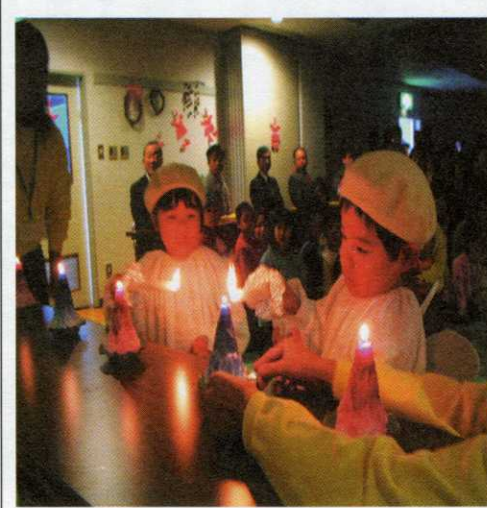
スポレク祭



地引綱



クリスマス会



今年度から学園で働く職員です

幼児寮児童指導員

北村 大樹

はじめまして、北村大樹です。子どもたちと接する仕事
 がしたかったので、この職場で働けることを幸せに思います。
 本場に毎日が楽しく、子どもたちの笑顔が見られると、胸
 が踊ります。彼らから学ぶことも多く、「日々勉強なんだ
 な。」と痛切に感じます。彼らにとつてどういふ存在である
 か、ゆつくり関係を築
 きながら模索していき
 たいと思います。出来
 れば、「気さくなお兄
 ちゃん。」のような存在
 になりたいので、分か
 らないことばかりですが、
 ご指導、ご鞭撻のほど宜
 しくお願ひします。



心理療法担当職員

井上 尚子

はじめまして。この度新しく心理療法担当職員として讃
 岐学園に参りました井上尚子と申します。今年の春、6年
 間という長い学生生活を終え、新たに讃岐学園で社会人
 としての第一歩を踏み出しました。現場に出て実際に子ども
 と接してみて初めて学ぶことも非常に多く、日々勉強の

毎日です。学園では、主に心理面接で、子どもたちと話を
 したり遊んだりして関わる事
 になります。大学と大学院で
 学んできた臨床心理の視点を、
 子どもの理解や支援に少しで
 も生かしていければと思つて
 おります。

他の職員と共に子どもの成
 長を支えるお手伝いが出来れ
 ばと思つておりますので、どう
 ぞよろしくお願ひ致します。

家庭支援専門相談員

榎本 有香

はじめまして。この4月から、讃岐学園にて『家庭支援相
 談員』をしております、榎本有香と申します。大学院を修
 了したばかりなので、まだまだ未熟者ではありますが、保
 護者の方々にとつて、何でも気軽に相談できる“支援者”に
 なれたらと考えております。

大学では臨床心理を勉強し
 ていたので、大学にて得たこと
 を基盤に、私なりに家庭支援
 専門相談員として保護者の
 方々、そして子どもたちに関
 わつていきたいと考えていま
 す。



日々を送れるように、微力ですが、子どもたちと保護者の
 方々の生活を支えて生きたいと考えております。どうぞ
 よろしくお願ひいたします。

調理員

高重 政子

3月から調理で働いている高重です。ここに勤める前は
 身体障害者の施設で働いていました。
 大昔に一度、ボランティアでお世話
 になったことがあります。たくさん
 の子どもたちと接する仕事は初め
 てなので戸惑うこともありま
 す。
 先生と呼ばれてびつくりもしまし
 た。子どもたちに元気をもらいな
 がら一緒に頑張つていきたいです。

調理員

丸山 明美

5月から讃岐学園の調理を担当することになりました。
 調理の仕事始めて3年半になり
 ます。その間ずっと、子どもたちの
 食に関わってきましたが、3食すべ
 て家庭的に作る学園の方針には少
 し驚きました。まだまだ経験不足
 ですが、少しでも早く慣れ、子ど
 もたちに喜んでもらえる食事作り
 が出来ればと思つています。今後共
 どうぞよろしくお願ひします。



平成 16 年度決算報告書

事業活動収支計算書		自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日	(単位:円)
介護保険収入		0	
利用料収入		35,750	
措置費収入	160,001,238		
運営費収入		0	
私的契約利用料収入		0	
経常経費補助金収入		6,100,202	
寄付金収入		3,828,568	
雑収入		2,978,111	
借入金元金償還補助金収入		0	
引当金戻入収入		0	
国庫補助金等特別積立金取崩額		11,948,553	
事業活動収入計(1)		184,892,422	
人件費支出		110,308,737	
事務費支出		12,902,615	
事業費支出		36,533,593	
減価償却費		18,041,945	
徴収不能額		0	
引当金繰入		641,805	
事業活動支出計(2)		178,428,695	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)		6,463,727	
借入金利息補助金収入		724,500	
受取利息配当金収入		10,336	
会計単位間繰入金収入		0	
経理区分間繰入金収入		3,710,000	
投資有価証券売却益		0	
有価証券売却益		0	
事業活動外収入計(4)		4,444,836	
借入金利息支出		934,500	
経理区分間繰入金支出		1,691,219	
投資有価証券売却損		0	
有価証券売却損		0	
資産評価損		0	
雑損失		250	
事業活動外支出計(5)		2,625,970	
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)		1,818,866	
経常収支差額(7)=(3)+(6)		8,282,593	
施設整備等補助金収入		1,270,000	
施設整備等寄付金収入		0	
固定資産売却収入		0	
国庫補助金等特別積立金取崩額		581,233	
その他の特別収入		0	
特別収入計(8)		1,851,233	
基本金組入額		0	
国庫補助金等特別積立金積立額		1,270,000	
固定資産売却・処分損		426,298	
その他の特別損失		0	
特別支出計(9)		1,696,298	
特別収支差額(10)=(8)-(9)		154,935	
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)		8,437,528	
前期繰越活動収支差額(12)		89,566,768	
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)		98,004,296	
基本金取崩額(14)		0	
基本金組入額(15)		0	
その他の積立金取崩額(16)		0	
その他の積立金積立額(17)		0	
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)		98,004,296	

貸借対照表		平成 17 年 3 月 31 日 現在	(単位:円)
資産の部		負債の部	
流動資産	26,646,253	流動負債	4,201,539
現金預金	21,246,451	短期運営資金借入金	0
その他の現金預金	0	その他の借入金	0
有価証券	0	未払金	3,540,471
未収金	3,695,127	施設整備等未払金	0
未収補助金	0	預り金	661,068
貯蔵品	0	前受金	0
立替金	152,980	仮受金	0
前払金	1,551,695	その他の引当金	0
短期貸付金	0	その他の流動負債	0
仮払金	0	固定負債	21,937,124
その他の流動資産	0	設備資金借入金	17,500,000
固定資産	633,538,865	長期運営資金借入金	0
基本財産(固定資産)	588,828,375	退職給付引当金	4,437,124
建物	254,142,375	その他の固定負債	0
土地	334,686,000	その他の引当金	0
基本財産特定預金	0	負債の部合計	26,138,663
その他の固定資産	44,710,490		
建物	1,231,464	純資産の部	
構築物	0	基本金	324,686,000
機械及び装置	0	国庫補助金等特別積立金	178,056,159
車両運搬具	2,725,854	その他の積立金	33,300,000
器具及び備品	3,016,048	次期繰越活動収支差額	98,004,296
土地	0	次期繰越活動収支差額	98,004,296
建設仮勘定	0	(うち当期活動収支差額)	8,437,528
権利	0	純資産の部合計	634,046,455
投資有価証券	0		
長期貸付金	0		
公益事業会計元入金	0		
収益事業会計元入金	0		
措置施設繰越特定預金	33,300,000		
その他の積立預金	0		
その他の固定資産	4,437,124		
資産の部合計	660,185,118	負債及び純資産の部合計	660,185,118

※編集上の諸事情から報告が遅れたことをお詫言申し上げます。

平成 17 年度決算報告書

事業活動収支計算書		自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日	(単位:円)
介護保険収入		0	
利用料収入		56,500	
措置費収入	163,248,921		
運営費収入		0	
私的契約利用料収入		0	
経常経費補助金収入		2,338,090	
寄付金収入		5,037,881	
雑収入		3,084,488	
借入金元金償還補助金収入		0	
引当金戻入収入		0	
国庫補助金等特別積立金取崩額		11,587,506	
事業活動収入計(1)		185,353,386	
人件費支出		108,933,403	
事務費支出		11,729,270	
事業費支出		39,803,323	
減価償却費		17,519,317	
徴収不能額		0	
引当金繰入		631,118	
事業活動支出計(2)		178,616,431	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)		6,736,955	
借入金利息補助金収入		603,750	
受取利息配当金収入		10,629	
会計単位間繰入金収入		0	
経理区分間繰入金収入		3,675,000	
投資有価証券売却益		0	
有価証券売却益		0	
事業活動外収入計(4)		4,289,379	
借入金利息支出		778,750	
経理区分間繰入金支出		1,788,319	
投資有価証券売却損		0	
有価証券売却損		0	
資産評価損		0	
雑損失		0	
事業活動外支出計(5)		2,567,069	
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)		1,722,310	
経常収支差額(7)=(3)+(6)		8,459,265	
施設整備等補助金収入		1,230,000	
施設整備等寄付金収入		500,000	
固定資産売却収入		0	
国庫補助金等特別積立金取崩額		168,599	
その他の特別収入		0	
特別収入計(8)		1,898,599	
基本金組入額		0	
国庫補助金等特別積立金積立額		1,230,000	
固定資産売却・処分損		57,861	
その他の特別損失		0	
特別支出計(9)		1,287,861	
特別収支差額(10)=(8)-(9)		610,738	
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)		9,070,003	
前期繰越活動収支差額(12)		98,004,296	
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)		107,074,299	
基本金取崩額(14)		0	
基本金組入額(15)		0	
その他の積立金取崩額(16)		0	
その他の積立金積立額(17)		5,000,000	
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)		102,074,299	

貸借対照表		平成 18 年 3 月 31 日 現在	(単位:円)
資産の部		負債の部	
流動資産	31,096,722	流動負債	4,622,548
現金預金	27,583,969	短期運営資金借入金	0
その他の現金預金	0	その他の借入金	0
有価証券	0	未払金	3,862,775
未収金	1,916,631	施設整備等未払金	0
未収補助金	0	預り金	759,773
貯蔵品	0	前受金	0
立替金	119,636	仮受金	0
前払金	1,476,486	その他の引当金	0
短期貸付金	0	その他の流動負債	0
仮払金	0	固定負債	18,438,760
その他の流動資産	0	設備資金借入金	14,000,000
固定資産	624,554,939	長期運営資金借入金	0
基本財産(固定資産)	573,630,830	退職給付引当金	4,438,760
建物	238,944,830	その他の固定負債	0
土地	334,686,000	その他の引当金	0
基本財産特定預金	0	負債の部合計	23,061,308
その他の固定資産	50,924,109		
建物	1,108,318	純資産の部	
構築物	0	基本金	324,686,000
機械及び装置	0	国庫補助金等特別積立金	167,530,054
車両運搬具	3,001,617	その他の積立金	38,300,000
器具及び備品	4,075,414	次期繰越活動収支差額	102,074,299
土地	0	次期繰越活動収支差額	102,074,299
建設仮勘定	0	(うち当期活動収支差額)	9,070,003
権利	0	純資産の部合計	632,590,353
投資有価証券	0		
長期貸付金	0		
公益事業会計元入金	0		
収益事業会計元入金	0		
措置施設繰越特定預金	38,300,000		
その他の積立預金	0		
その他の固定資産	4,438,760		
資産の部合計	655,651,661	負債及び純資産の部合計	655,651,661

讃岐学園ケアサービス案内



◆◆ショートステイ◆◆

(家庭養育支援事業)

保護者が、病気・出産・出張・事故などのために家庭で子どもを養育することが難しくなった場合、一時的にお子さんを保護し、養育します。



◆◆トワイライトステイ◆◆

(父子家庭等児童夜間養護事業)

父子家庭等で、お父さんが仕事のためにいつも帰宅が遅く、子どもを養育するのが難しい場合、お仕事が終わるまでお子さんをお預かりし、生活指導や夕食の提供を行います。



◆◆母子緊急一時保護◆◆

緊急時、お母さんとお子さんを一時保護します。



◆◆子育て相談◆◆

(児童育成相談事業)

当園は子どものお世話だけでなく、保育士・心理療法士等が地域の方々からの相談に応じています。子育てに関する悩み・不安など、お気軽にご相談ください。相談は無料です。予約制になっておりますので、まずはお電話にてご連絡ください。



<案内図>



電車：琴電平木・長尾行乗車、高田駅下車徒歩20分
バス：琴電バス高松東病院・大学病院線乗車、大学病院下車徒歩10分

地域の方々お気軽に利用できるサービスを提供したいと考えています。

各サービス事業について詳しく知りたい方は、お気軽にお電話ください。

<連絡先>

〒761-0322

香川県高松市前田東町569-2

児童養護施設 讃岐学園

TEL(087) 847-5171

FAX(087) 847-5173

ホームページ <http://www.sanukigakuen.jp/>

E-mail sanu5171@bird.ocn.ne.jp

ボランティアのお願い

児童養護施設では、1才から18才までの子どもたちが生活しています。当園では、子どもたちと一緒に遊んだり、小・中・高校生に勉強を教えたりしてくださる方を募集しています。関心のある方、子どもの好きな方、ぜひご連絡ください。

編集後記

今年度は『食育』をテーマに取り上げました。食を通して子ども達が心身ともに成長していくよう職員一同努力していきたいと考えております。今後とも温かいご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

編集委員 (藤澤、武岡、乃万、清水)

～温泉水を提供しています～

当園の敷地内には温泉水が出ています。容器を持参してご自由にお持ち帰りください。無料です。詳しくは事務所まで

時間は毎日10時～16時まで



<泉質>：ラドン系単純弱放射能冷鉱泉

<適応症等>

浴用：神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、慢性消化器病、痔疾、冷え性、疲労回復、痛風、動脈硬化症、高血圧症、慢性胆嚢炎、胆石症、慢性皮膚病、慢性婦人病など

飲用：神経痛、筋肉痛、関節痛、痛風、慢性消化器病、慢性胆嚢炎、胆石症

※なお、営業用には使用することはお断りします。